

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112H013		基礎生物学(Basic Biology)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 泉 好弘 E-mail yizumi@oita-u.ac.jp 内線 7577											
授業の概要	生物がどのようにして生長し、子孫を残していくのかを理解させるために、生物の特徴である物質代謝、自己複製、刺激応答性に関する基礎的な内容について解説する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 生物の特徴(無生物との違い)を説明できる。																	
目標2 生物がどのようにして生長するのかを説明できる。																	
目標3 生物がどのようにして子孫を残していくのかを説明できる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 生物の定義と細胞の特徴																	
2 物質代謝 I - 生物を構成する物質 -																	
3 物質代謝 II - 酵素の特徴 -																	
4 物質代謝 III - 酸素呼吸 -																	
5 物質代謝 IV - 光合成 -																	
6 自己複製 I - 核酸の特徴とタンパク質合成 -																	
7 自己複製 II - DNAの複製と体細胞分裂 -																	
8 自己複製 III - 減数分裂と配偶子形成 -																	
9 自己複製 IV - 発生 -																	
10 刺激応答性 I - 刺激の受容と応答 -																	
11 刺激応答性 II - 抗原抗体反応 -																	
12 生態系の物質循環とエネルギーの流れ																	
13 個体群内、個体群間の相互作用																	
14 生物多様性とその保全																	
15 生物の系統と進化																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	指名発問				工夫	その他の										
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	配付資料等の情報を必要に応じて予習する(15h)。															
	事後	授業ノートを整理し、授業内容をまとめる(15h)。															
	学習	授業ノートや配付資料を用いて復習する(15h)。															
教科書	教科書は指定しない。 授業中に配布するプリントを使用する。																
参考書	参考書は指定しない。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	試験	80%															
	レポート	20%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																